学校番号	3021

令和２年度　公民科（２年）

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校　現代社会　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	「最新図説　現社」　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では現代社会の基本的な問題について，政治的な事柄を中心に学習する。「何が」「どのように」重要で，「何が」「どうして」問題なのかを常に考えながら，学んでいくことが重要である。
・私たちは政治的な事柄と関わらずに生きていくことはできない。授業では受け身にならず，主体的に議論に参加する姿勢を求めたい。

２　学習の到達目標

・　人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深め，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに，自ら人間としての在り方，生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方，生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方，生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用する学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方，生き方とに関わる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 授業での観察	定期考査 ワークシート 発表や討論	定期考査 ワークシート 発表や討論	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代の国家と民主政治	・人権保障の発展と現代社会 ・国民主権と民主政治の発展	○ 	 ○	○ 	 ○	a:現代の民主政治や法に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，個人の尊重と法の支配について考察しようとしている。 b:現代の民主政治における個人と法について，多面的・多角的に考察し，社会の変化や考え方を踏まえ公正に判断して，適切に表現している。 c:民主政治や法の支配に関する諸資料を収集し，情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:民主政治の原理や法の支配と法や規範の意義及び役割，司法制度の在り方について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	日本国憲法と国民生活	・日本国憲法の成立 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり	○ ○ 	 ○ 	 ○ ○	○ ○	a:明治憲法と日本国憲法の違いについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:明治憲法と日本国憲法，人権について多角的・多面的に考察し，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し，情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:明治憲法，日本国憲法，人権に関する様々な問題について理解し，政治についての基本的な見方や考え方を身に付ける。	定期考査 ワークシート 発表や討論

後期	日本国憲法と国民生活	・政治機構と国民生活 ・人権保障と裁判所	 ○	○ 	 ○	○ ○	a:国会，内閣，裁判所と国民生活とのつながりについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:日本の政治機構を，多角的・多面的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し，情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:国会，内閣，裁判所と国民生活とのつながりについて理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		・地方自治 ・選挙と政党 ・政治参加と世論	○ ○ ○	○ ○ 	○ 	 ○ ○	a:地方自治，政党や選挙の役割，世論の形成について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:地方自治，政党や，選挙，世論の形成について多角的・多面的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し，情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:地方自治，政党や選挙，世論の形成に関する諸問題について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 発表や討論

後期	国際政治の動向	・平和主義と日本の安全 ・国際社会における政治と法 ・国家安全保障と国際連合 ・冷戦期の脅威と冷戦後の脅威 ・軍備競争と軍備縮小 ・異なる人種・民族との共存 ・国際社会と日本	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a：世界の平和，国際法の意義や国際連合などの役割，日本の国際的地位・役割に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：世界の平和，国際社会の変遷，国際法や国際連合などの役割や日本の国際的地位・役割を多角的・多面的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：必要な諸資料を様々なメディア等を通して収集・選択して，効果的に活用している。 d：世界の平和，国際社会の変遷，国際法の意義や国際連合などの役割，日本の国際的地位・役割について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。